

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		市民文化祭事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	02020000624	
政策体系	総合計画の施策名	O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						所属課	090601 生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名		
	施策名	02 生涯学習・芸術文化活動の推進						グループ	生涯学習G	
	手段名	02 ②親しみを感じる文化振興の推進						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 単年度繰返し (平成18年度～)			
	01	10	06	03	01	00	文化振興事業 ☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠	市民文化祭補助金交付要項									

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市文化協会を中心に、市民文化祭実行委員会を立ち上げる。 実行委員会に分野ごとに部会をつくり、部会内の連絡調整と助言指導を行う。 芸術文化活動の一環として、市民に発表の場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【市民文化祭実行委員会(全体)】 ※◎…挨拶あり ・実行委員会(出席者:◎教育長、教育部長、次長、課長)にて事業計画を協議(第1回:7月上旬、第2回:2月中旬) ・補助金交付関係事務、各催事担当調整・管理(8月頃担当) ・市民文化祭の広報(チラシ等制作:8月、配布:10月) 【各催事】 ・作品展関係者会議(第1回:8月、第2回:10月、第3回:12月) ・短歌・俳句・将棋の賞状作成 ・各催事運営支援(10月上旬~11月中旬) 短歌、俳句、つどい出席者◎:市長、副市長、教育長(いずれか)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
実行委員会を立ち上げ関係者に理解をはかる。市民文化祭の中心を担う、桜川市文化協会の各部門の会議に参加し準備の段階から円滑に各催事が進むよう支援する。	開催日数		43.00	43.00	40.00	40.00	40.00
	催事数		12.00	11.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
一般市民、園児、小学生、中学生、高校生、	参加者数		4,505.00	4,974.00	4,900.00	4,900.00	4,900.00
	参加学校数(保育所・幼稚園を含む)		19.00	19.00	18.00	17.00	17.00
	来場者数		3,973.00	3,560.00	4,500.00	4,500.00	4,500.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市の芸術文化活動、生涯学習活動への意欲向上	学習活動を行っている市民の割合		24.60	29.70	35.00	35.00	35.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
			国庫支出金	0	0	0	0
			県支出金	0	0	0	0
			地方債	0	0	0	0
			使用料・手数料	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			一般財源	810	810	810	0
			事業費計(A)	810	810	810	0
			正規職員従事人数	3.00人	3.00人	3.00人	

01年度事業費実績(千円)

02年度事業費予算(千円)

19 負担金補助及び交付金	810		19 負担金補助及び交付金	810			
合計		810	合計		810		810

事務事業名	市民文化祭事業	事務事業No.	20202000624	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
市民の文化芸術・生涯学習活動の成果発表、展示発表を行い多くの市民が鑑賞する機会を設ける。心豊かで潤いのある桜川市の文化振興に寄与することを目的として開催。近年は、各催事とも参加者の高齢化が進み、徐々に参加者が減少していることから、これまで通りの催事の開催が難しくなっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成28年度から文化協会を専門部制に再編したことにより、市民文化祭の開催についても、専門部を中心として運営を行いスムーズの開催することができた。各催事とも参加者の貴重な発表の機会、交流の場として市の文化振興に寄与することができた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習、芸術文化活動の推進に整合する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の文化芸術活動の発表の場を提供している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 文化協会の専門部を中心に開催することで、専門性の高い催事に発展できる可能性がある。また、若年層の出演、出場が少ないことから、何らかの企画を試み、広く文化振興を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の文化活動の成果を発表する機会や場所がなくなることになり、生涯学習、文化活動の促進が図れない。市の文化振興が低下する。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市民文化祭は日頃の文化活動を発表する年に一度の機会となっており、それを励みに年間の活動をしている個人・団体が多数存在するため、廃止する余地はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 各催事を開催するにあたり、最低限の事業費であるため削減は難しい。専門部での活動が少しずつ自立してくれば、人件費の削減は可能であるが、まだ時間を要すると思われる。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民文化祭ということで、市広報誌やHP、チラシ等で広く一般参加者を募り、実施している。催事によっては、文化協会加盟団体だけではなく、一般市民や市内高校生の団体などが参加できる文化祭として認識されてきている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和元年度作品展ではこれまで無かったロマンダーの展示があり、アンケートでも高評価だった。作品展の出演団体は減少傾向にあるため、今後も新たな出演ジャンルを取り入れていくべきである。開幕大会は平成30年度の代表者変更をきっかけに出場者確保が不調で開催できていないため、今後は将棋大会と併催するなどの方向性を検討する。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開催場所や開催方法の工夫により、開催にかかる作業効率の向上や来場者増を見込む余地はある。令和2年度は作品展の会場を大和体育館からシトラスに変更する予定の他、参加者の減少に伴い単独開催が難しくなってきたいけば展やお茶会などについても作品展の中でできないか検討する。補助金について指摘事項を検討し改善を行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						X					X
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
				X																						
				X																						
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>